

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっぺ コラム

市長 佐竹敬久



パッサウ市の野良猫と

猫、されど猫

私の一日は、隣に寝ている妻と、なんとなく起きる気配を感じて寢床に集まってくる猫たちへの「おい、おはよう」でスタートします。

私は現在、猫五匹と同居しています。もともとは、小学時代に犬に生まれたこともあり、犬猫に格別興味を持つことはありませんでした。

しかし、ある時に息子がケガをした野良のメスの子猫を拾ってきて、かわいそうだから家で育てようと思いがまれ、仕方なしに家の一員にしてから猫にハマッてしまったようです。

その後、隣の公園の木のテッペンで、降りることができずに二日も泣き続けていた真っ白いオスの子猫を、娘と私とでハシゴをかけようやく助け出し一員に加えました。すぐ外れる紙ひもの首輪をしていましたので、訳ありの捨て猫だったのでしょうか。

そうしている内に、ベランダの下に二匹のオスの野良猫が住み着きました。二匹とも決してかわいいとはいえませんが、人なつこく、真っ正直に見える猫相でしたので、これも仲間入りと相成り四匹となりました。



市長と暮らす猫たち

五匹目は生まれたばかりのメスの野良です。この子猫は町内を徘徊する野良の子どものようでしたが、生まれながらに片足が折れており、虫の息でベランダの下に倒れていたのを助け、動物病院で治してもらい、五匹目として仲間入りをさせました。そんなこんなで、私の小遣いの相当割合は、去勢手術やエサ、猫砂、さらには時々かかる動物病院の治療費で消えることになりました。

猫と暮らすようになって、変わったことや感ずることがあります。

まずは、たわいのない猫の話題が日課となり、猫の独特のしぐさや、愛きようのある寝姿を見ることが多くなるにつれ、夫婦げんかが少なくなりました。また、これまで私にほえていた犬君も、安心した目を見せるようになり、ほえなくなりました。

さらに、時々母子連れでベランダに寄りつく町内の野良と思しきやせ細った母猫が、わずかばかりのエサを子猫に先に食べさせる様を見て、親の情を実感として受けとめることができるようになりました。

親が子を、子が親を、また些細なことで人を殺めるといふ、命の大切さにあまりに不感になつている昨今の人間さまの社会からすれば、猫さまの方が少しばかりスルツコイところがあるにせよ、命を授けられたものとしての、はるかに基本的な心得がある高い存在に感じられます。

猫嫌いのかたや猫アレルギーのかた、野良猫は断固駆除すべしというかたには、今回はなんとかが容赦を！



河辺、雄和のみなさん！

防火指導 広報活動 応急手当の普及 女性消防団員として 活動しませんか

あなただからできる、あなたしかできない、やりがいのある消防団活動に取り組んでみませんか。採用は平成十九年四月一日付けで、秋田市消防団本部所属となります。採用予定人数は河辺・雄和地域から各一人です。

対象

河辺・雄和地域に住むかたで、平成十九年四月一日現在で満十八歳以上四十五歳以下の女性
健康明朗で防災やボランティア活動に興味があるかた

活動内容

住宅用火災警報器の普及指導、住宅防火診断
応急手当の普及指導
消防団各種行事への参加など

待遇

報酬 年額二万四百万円
出勤費用 一回につき二千八百円(行事などを含む)
女性消防団員としての被服一式(帽子、制服、活動服、靴など)はお貸しします
公務災害補償、退職報奨金(五年以上勤続)制度などがあります

その他

採用は、小論文と面接により選考します。面接日時は、別途通知します。結果は三月上旬文書で通知します

応募方法

二月二十八日(水)まで、市消防本部、各消防署、分署、出張所にある申込書に必要事項を書いて、「地域と消防団」と題した小論文(原稿用紙二〜三枚)を添付のうえ、市消防本部総務課へ、直接または郵送で提出してください。申込書は市消防本部ホームページからも入手できます
<http://www.city.akita.jp/city/fr/>

申し込み 問い合わせ

〒010-0951
秋田市山王一丁目1-1
市消防本部総務課
☎(823)4000

今年5月、雄和椿川に市民農園が開園！ 市民農園の愛称を募集

市民のみなさんに親しまれ、利用したくなるような、農園のすてきな愛称を募集します。

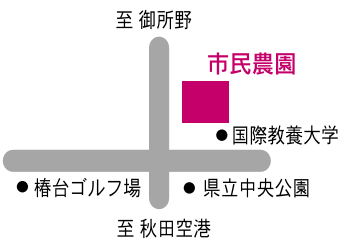
農園の概要

農園名 秋田市雄和奥椿岱地区第二市民農園

所在地 秋田市雄和椿川字奥椿岱
*付近には、雄和サイクリングターミナル、国際教養大学、県立中央公園などがあります

総面積 24^㉔(141区画)
画で1区画は50[㊦]を予定)

付帯施設 水道、トイレ、器具庫、東屋、広場、駐車場
利用料金 五千元(1区画、年間)



応募上の注意

応募数は一人一点。愛称は未発表のものに限りません。採用された愛称の著作権は市に帰属します。採用された愛称の発表の際に氏名、市町村名を表示させていただきますことがあります。

審査方法と発表

応募作品の中から最優秀案一点を選び、愛称を決定します。採用者本人に通知するとともに、広報あきた、市ホームページなどで発表します。採用されたかたには賞状と副賞を贈呈します。

応募方法

応募用紙(自作可)に愛称、愛称の意味や理由、住所、氏名、電話番号、年齢、職業(学生の場合は学校名と学年)を書いて、二月二十八日(水)(必着)まで、〒010-8560 秋田市山王一丁目1-1 農林総務課(市役所分館3階)へお持ちになるか郵送してください。ファクス、Eメールでも受け付けます。☎(866)2115
ファクス(864)4408
Eメール ro-agmn@city.akita.akita.jp

農園利用の申し込み方法は、三月の広報あきたでお知らせします。

